

2010年

9月22日(水曜日) まちづくりのエンジン 千人の奉仕の絆 - 職員互助会会員交流会 -

本日、京丹後市職員互助会の会員交流会が多くの方の皆さんに参集をいただき、盛大に開催をされました。日ごろは、それぞれの職場職務を住民の皆さんを真ん中にして誠心誠意尽くしていただいている、心から感謝をしています。

私は、本市のまちづくり、昨今の社会経済の厳しい状況から抜けきれていませんが、そんな中で、まちの将来の発展を展望していくうえで、行政が果たしていく役割はまだまだ尽きませんし、都市部と比較して基幹道路、生活基盤等インフラが未整備である分、行政の更なる働きが欠かせません。

行政の働きの中で、もちろん市長はじめ理事者の役割の大切さはいくらでもありますが、同時にとても大切なのは、それぞれの現場で住民の皆さんと向き合い、寄り添って住民福祉の向上に精励している職員の皆さん一人ひとりの働きこそであります。職員一人ひとりの力。本市には1000人以上の職員の皆さんが一生懸命働いていただいています。職員一人ひとりが一日一歩でも半歩でも前に進んでいけば、それを1000人合わせれば一日1000歩、500歩。とっても大きな力になる。

今こそ、職員一人ひとりが一日一歩の改善に改めて心がけていただいて、一人ひとりの力を合わせて、まちの発展への1000人の大きな力にしていこうではありませんか。この力が、私たちのまちの発展への力強いエンジンであります。今日は、それぞれ鋭気も養っていただいて、職員の仲間同士の絆をますます太くしなやかに活き活きとしたものにしていただく機会にしてほしい。

そして、職員同士の絆の中心にあるのは、奉仕。市役所全体は、住民の皆さんの福祉向上のために奉仕をする奉仕所です。住民の皆さんを真ん中に、職員一人ひとりの力を活き活きとした奉仕の絆で結んで、住民福祉の向上へと絶えず歩み続ける力強い生命力あふれた市役所へと進み続けていきたい。